

平成 30 年度

事業者番号	0116	事業所番号	011601
-------	------	-------	--------

事業所の地球温暖化対策計画・実施状況報告

1 事業所の概要

(1) 事業所種別

事業所種別	C 平成20年度以降の3か年度(年度の途中から当該事業所の使用が開始された場合にあっては、当該年度を除く3か年度)連続して、年間原油換算エネルギー使用量が1,500kL以上の事業所(他の事業所の一部(区分所有部分、テナント部分等)である事業所は除く)
C	

(2) 事業所及び事業内容

事業所名	西武本川越ステーションビル		
事業所所在地	市区町村	川越市	
	字・地番	新富町一丁目22番地	
産業分類名(中分類)	各種商品小売業		
分類番号(中分類)	56		
事業活動の概要	事業内容 従業員数等	雑貨、カフェ、食品等の小売業(本川越PePe)、 宿泊業(川越プリンスホテル)の複合ビル	

2 事業所の温室効果ガス排出量の削減目標

(1) 第2計画期間の削減目標

計画期間	27	年度	~	31	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)	第2計画期間の基準排出量に対し、平成27年度~平成31年度までに15%以上削減する。			
	その他ガス				
エネルギー起源CO ₂ の削減目標の概要	排出可能上限量 (計画期間合計)	35,925	t-CO ₂	/	
	削減目標量 (計画期間合計)	6,340	t-CO ₂		

(2) 第3計画期間の削減目標

計画期間	32	年度	~	36	年度
削減目標	エネルギー起源CO ₂ (必須)				
	その他ガス				

3-1 事業所の温室効果ガス排出量

(1)原油換算エネルギー使用量の推移

原油換算エネルギー 使用量(kL)	計画期間				
	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
	3,368	3,344	3,304		

(2)計画期間の温室効果ガス排出量の推移

CO₂換算(t-CO₂)

		計画期間				
		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂		6,555	6,509	6,433		
その他 ガス	非エネルギー起源CO ₂					
	メタン					
	一酸化二窒素					
	ハイドロフルオロカーボン					
	パーフルオロカーボン					
	六ふっ化いおう					
	三ふっ化窒素					
温室効果ガスの合計		6,555	6,509	6,433		

(3)計画期間の温室効果ガス排出量原単位の状況(エネルギー起源CO₂)

CO₂換算(t-CO₂/指標)

				計画期間				
				27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)
エネルギー起源CO ₂ 排出量原単位				146.1411	144.6444	142.9556		
活動規模の指標	○	床面積	千m ²	45	45	45		

3-2 温室効果ガス削減目標に係る状況

(1) 基準排出量

基準排出量	8,453	t-CO ₂ /年
基準排出量検証	基準年度検証実施済	

(2) 基準排出量の変更

変更年度		変更量	
変更年度		変更量	
変更年度		変更量	

(3) 目標削減率

目標削減率の区分	第1区分- (1)
----------	-----------

(4) 削減計画期間

27	年度から	31	年度まで
----	------	----	------

(5) 年度ごとの状況

		27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	31年度 (2019)	削減期間 合計	
基準 排 出 量 等	基準排出量(A)	8,453	8,453	8,453	8,453	8,453	42,265	
	トップレベル認定							
	目標削減率(B)	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%	15.0%		
	排出上限量 (C = Σ A - D)							35,925
	排出削減目標量 (D = Σ (A × B))							6,340
実績	エネルギー起源 CO ₂ 排出量(E)	6,555	6,509	6,433			19,497	
	排出削減量 (F = A - E)	1,898	1,944	2,020			5,862	
特例	高効率設備の 算定量(※)							

※ 算定を希望する場合のみ記入する。別途、算定資料(任意様式)を添付すること。

(6) エネルギー起源CO₂排出量の増減に影響を及ぼす要因の分析

西武本川越ペペにて空調機更新を実施したことにより前年度に比べエネルギー使用量は減少している。

4 温室効果ガスの排出の抑制等に関する措置の計画及び実施状況

No	対策の区分		対策概要	実施年度	推計削減量 (t) (一年度当たり)	
	区分番号	区分名称				
		大区分				中区分
1	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	中宴会場調光装置更新・照明LED化	H28年度	6
2	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	ペペ照明器具の更新	H29年度	
3	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	中宴会場調光装置更新・照明LED化 (2期工事)	H29年度	6
4	160100	昇降機、建物	16_昇降機の運転管理	ペペエスカレーター改修	H32以降	
5	150200	受変電設備、照明設備、電気設備	15_照明設備の運用管理	ホテルフロント周り照明器具の更新	H32以降	
6	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	ペペ P-MAC空調機更新	H29年度	
7	130100	空気調和設備・換気設備	13_空気調和の運転管理	ペペ P-MAC空調機更新	H30年度	
8	120400	熱源設備・熱搬送設備	12_補機の運転管理	ペペ P-MAC空調機更新	H31年度	
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						

※ 入力欄が足りない場合は、シートの様式を変更せずに、同様式の別ファイルを作成して提出してください。

5 事業者として実施した対策の内容及び対策実施状況に関する自己評価

(※希望者のみ記載)

自由記述欄

Free description area for self-evaluation of measures implemented by the business operator.